

令和 2 年度 看護師職能Ⅱ委員会 活動報告

■委員名

委員長： 於田里実

副委員長： 上月昭宏

委員： 青山美恵子・井上より子・井口いづみ・大下眞美・片島常代・清船久見子・黒澤美雪・
杉田博子・橋本彩・原田三奈子

■活動目標

1. 地域包括ケアシステムの推進に向けた看護職の育成とネットワークの推進を図る。
2. 地域で働く看護職のリスク管理についての意見集約と対策の検討

■委員会開催状況と検討内容

回	開催日	出席数	内 容
1	令和 2 年 9 月 26 日 (Web 併用)	6 名	・ 理事会報告 ・ 看護師職能委員会研修企画について ・ 看護協会併催シンポジウム参加について ・ 日本看護協会地区別委員長会ワークシート内容について
2	令和 2 年 10 月 17 日 (Web 併用)	8 名	・ 看護協会併催シンポジウムについて ・ 12 月の研修会案内について ・ アンケート内容について
3	令和 2 年 11 月 7 日 (Web 併用)	11 名	・ シンポジウム発表内容について ・ 看護師職能Ⅱ委員会研修の役割分担等 ・ シンポジウム振り返り
4	令和 2 年 12 月 12 日 (Web 併用)	10 名	・ 本日の研修会について ・ スケジュール、役割分担、配布資料の確認等 ・ 研修参加者の体調確認、感染対策等
5	令和 3 年 1 月 23 日 (Web 併用)	11 名	・ 看護師職能Ⅱ研修会の質問内容と回答方法について ・ 12 月研修会の振り返り ・ 令和 2 年度活動報告書について
6	令和 3 年 2 月 20 日 (Web 併用)	11 名	・ 令和 2 年度活動報告書・令和 3 年度活動計画書作成 ・ 看護師職能Ⅱ研修講師からの質問返しについて ・ 4 月 10 日研修会スケジュール、役割分担等
7	令和 3 年 3 月 27 日 (Web 併用)	10 名	・ 理事会報告 ・ 全国職能委員長会報告 ・ 4 月 10 日研修会 アンケート作成、役割分担等

■活動内容

1. 保健師助産師看護師合同職能集会 (COVID-19 の影響で中止)

日 時：令和2年6月18日 9:30～12:00

基調講演

テーマ：働き方改革～いきいき働き続けるために～

講師：さかうえ社会保険労務士事務所 所長 坂上和芳 氏

2. 保健師助産師看護師・支部合同交流会 (COVID-19 の影響で中止)

日 時：令和2年9月26日 13:30～16:30

場 所：兵庫県看護協会会館

内 容：看護職間の連携・協働のこれから～地域での暮らしを支えるために～

講演：1) 兵庫県の保健師活動と役割について

2) 診療看護師 (NP) としての地域での活動で見えてきたもの
～看護の力で重症化予防～

講師：糖尿病ケアサポートセンターオフィス代表 中山法子 氏

3) 病院・訪問看護ステーションとの連携強化について

1. 「With コロナ在宅療養支援における感染対策 (Web シンポジウム)」

看護協会との共催

日 時：11月7日 13:30～16:30

目 的：①感染対策における多職種の知恵と工夫、悩みを共有する。

②感染対策を検討する。

対象者：在宅療養支援に関わるすべての医療・介護職の方

参加者：約80名

内 容：現場からの情報提供

シンポジスト

退院調整看護師：県立西宮病院地域医療連携センター 磯沖文誉 氏

介護支援専門員：本山東部あんしんすこやかセンター 大下眞美 氏

訪問看護師：宍粟市訪問看護ステーション 荒尾和美 氏

施設看護師：介護老人保健施設マリア・ヴィラ 上月昭宏 氏

：県からの情報提供

兵庫県健康福祉部感染症等対策室感染症対策課 米田和代 氏

：感染対策の基本

医療法人社団清和会笹生病院 大塚美紀 氏

：『COVID-19 感染症に関する調査』結果報告

兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会 副会長 山崎和代 氏

2. 看護師職能Ⅱ委員会研修

日 時：令和2年12月12日 13:30～15:00

場 所：兵庫県看護協会会館

会場参加と Web 併用研修

内 容：「コロナ禍における高齢者施設等の感染対策」

～認知症や精神症状のある方への対応～

	講 師：医療法人甲風会 有馬温泉病院 看護部長 老人看護専門看護師 西山みどり 氏 対象者：看護職（会員・非会員）高齢者施設・介護施設で働く職種の方々
■活動の評価	目標 1. <u>地域包括ケアシステムの推進に向けた看護職の育成とネットワークの推進を図る</u> 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で活動計画の全てが中止となった。 しかし、職能Ⅱ領域の高齢者施設や小規模事業所等で働く看護師は、新型コロナウイルス感染症でクラスターが発生しないよう感染対策に苦慮し支援を求めている現状がわかった。 そこで感染対策の追加研修を企画したと同時に、看護協会併催の「With コロナ在宅療養支援における感染対策シンポジウム」に職能委員 2 名がシンポジストとして参加した。結果、在宅療養支援を担うそれぞれの現場においてコロナ禍の感染対策に苦慮されている現状を知った。又、地域における具体的な感染対策の実際を知ることができた為、職能Ⅱ委員会活動で感染対策研修の充実を図っていく必要性を再認識した。 今後も地域で働く看護職間で知識や悩みを共有し、ネットワークを充実させることでコロナ禍における地域包括ケアシステムの推進を図ることができると考える。又、地域の感染対策を強化する為に活動できる看護師の早期育成が必要である。 目標 2. <u>地域で働く看護職のリスク管理についての意見集約と対策の検討</u> 新型コロナウイルス感染症対策も地域で働く看護師にとって大きなリスク管理と考え「コロナ禍における高齢者施設等の感染対策」～認知症や精神症状のある方への対応～研修を実施した。結果、会場 122 名 Web189 名と多くの参加があり大きな反響をいただいた。これは新型コロナウイルス感染症対策に対するニーズの高さと兵庫県健康福祉部少子高齢局高齢政策課からの研修案内による効果であると考え。その為、今後も兵庫県から研修案内を送付いただき県内高齢者施設等の専門職に周知を図ることで効果的な活動に繋げていきたい。又、研修参加者からは「もっと高齢者施設向けの研修をしてほしい」「高齢者施設等における ACP について知りたい」「コロナ禍でも感染対策をしっかり行って研修は継続してほしい」等職能Ⅱ領域における研修の充実を望まれていることがわかり、今後の活動示唆を得ることができた。研修参加者は非会員 60%、スタッフ 65%と高齢者施設等の現場で働いている専門職が多く、皆が新型コロナウイルス感染症対策に苦慮され、対策を学びたいと参加されていた。職能Ⅱ領域で働く多くの看護師は地域の介護の現場でスタッフ指導や多職種協働の中心的役割を担わなければならない。その為、今後は介護現場の支援も視野に入れた活動を行い、職能Ⅱ領域の看護師支援を強化させることで組織力を強化していく。
■今後の課題	・ 高齢者施設等の看護師を対象とした Web 研修の充実とオンデマンドの検討 ・ 職能Ⅱ委員会活動の周知と、組織力強化
■看護協会への提言・要望	・ 高齢者施設等で活動できる感染管理指導者育成研修等の早期開催 ・ 兵庫県健康福祉部少子高齢局高齢政策課等県との連携継続 ・ 会員と非会員の差別化